

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
2023年度 第3回 キャリア委員会
議事次第

日 時：2023年12月1日（金）14:00～14:50

開催場所：起業プラザひょうご

兵庫県神戸市中央区浪花町56 三井住友銀行神戸本部ビル2F

委員校：関西学院大学（委員長校）

関西福祉大学（副委員長校）、甲南女子大学（副委員長校）、神戸国際大学（副委員長校）

芦屋大学、大手前大学、大手前短期大学、関西国際大学、聖和短期大学、甲南大学

神戸大学、神戸海星女子学院大学、神戸学院大学、神戸市外国語大学

神戸松蔭女子学院大学、神戸親和大学、神戸常盤大学、神戸常盤大学短期大学部

園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、姫路獨協大学、兵庫大学

兵庫大学短期大学部、兵庫県立大学、流通科学大学

I. 協議事項

1. 情報公開する企業100社（2023年度分1社）の選定及び公開状況について（資料1）
2. 2023年度キャリア委員会事業自己評価について（資料2）
 - ① 大学間連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクト
 - ② 県内企業・大学等の魅力を情報発信
 - ③ 留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム
(ひょうご留学生インターンシップ・合同企業説明会)
 - ④ 外国人留学生採用ワンストップ支援事業

II. 懇談事項

1. 大学コンソーシアムひょうご神戸の付加価値について（資料3）
2. 尼崎市からのR6年度インターンシップ等推進事業（資料4）
3. 来期の留学生向け就職支援・キャリア教育プログラムについて（資料5）

III. 連絡・調整事項

1. 2023年度のキャリア委員会開催予定と主な議題について
第4回委員会 2月：2024年度 事業計画・予算（案）
第5回委員会 3月：2023年度 事業報告・決算（案）

以上

<資料一覧>

資料1：2023年度 地元で働こう！兵庫県内企業情報サイト 掲載情報一覧（案）

資料2-1：【理事長名依頼状】2023事業計画の「自己評価」の作成依頼

資料2-2：2023年度 キャリア委員会事業 自己評価（案）①～④

資料3：大学コンソーシアムひょうご神戸の付加価値について

資料4：R6年度インターンシップ等推進事業について

資料5：2024年度 ひょうご留学生インターンシップ 概要について

「地元で働こう！兵庫県内企業情報サイト」 大学紹介企業一覧

	企業名	地域	業種①	業種②	留学生採用有無	求める日本語能力	ミモザ企業	地域未来牽引企業	年度
1	I&H株式会社	②阪神	流通・小売		—	—			2022
2	株式会社アシックス	①神戸	メーカー		—	—	○		2019
3	アスカカンパニー株式会社	③播磨	メーカー		—	—	○	○	2021
4	株式会社 アップ	②阪神	サービス・インフラ		○	N2			2021
5	ANAクラウンプラザホテル神戸	①神戸	サービス・インフラ		○	特になし			2019
6	尼崎信用金庫	②阪神	金融		—	—			2019
7	尼神運輸株式会社	②阪神	流通・小売		—	—			2022
8	株式会社あみだ池大黒	②阪神	メーカー	流通・小売	—	—		○	2020
9	株式会社アルカノ/株式会社ナガタ薬品	①神戸	流通・小売		—	—			2020
10	淡路信用金庫	⑥淡路	金融		—	—			2021
11	株式会社117	③播磨	サービス・インフラ		—	—			2019
12	伊丹産業株式会社	②阪神	商社	流通・小売	—	—			2019
13	(株)いづよね	①神戸	流通・小売		—	—			2021
14	伊東電機株式会社	③播磨	メーカー		—	—		○	2019
15	株式会社イボキン	③播磨	サービス・インフラ		—	—			2020
16	植田製油株式会社	①神戸	メーカー		—	—			2019
17	株式会社エーデルワイス	①神戸	メーカー		—	—		○	2019
18	エコートレーディング株式会社	②阪神	商社		○	N2			2020
19	エム・シーシー食品株式会社	①神戸	メーカー		○	N1		○	2023
20	大阪富士工業株式会社	②阪神	メーカー	メーカー	○	N1			2022
21	株式会社大月真珠	①神戸	メーカー	流通・小売	○	N1			2022
22	株式会社大森廻酒店	②阪神	流通・小売	サービス・インフラ	—	—			2020
23	岡田金属工業株式会社	③播磨	メーカー		—	—			2019
24	株式会社奥谷金網製作所	①神戸	メーカー		○	N1	○	○	2021
25	加藤産業株式会社	②阪神	商社		○	N1			2019
26	株式会社上組	①神戸	サービス・インフラ		—	—			2019
27	株式会社加美乃素本舗	①神戸	メーカー		○	N1			2021
28	カリナシステム株式会社 (EIZO株式会社)	①神戸	メーカー		○	N1			2021
29	川西倉庫株式会社	①神戸	サービス・インフラ		—	—			2020
30	株式会社神崎高級工機製作所	②阪神	メーカー		—	—			2019
31	菊正宗酒造株式会社	①神戸	メーカー		○	N1			2022
32	株式会社基陽	③播磨	メーカー		○	特になし	○		2019
33	近畿工業株式会社	①神戸	メーカー		—	—		○	2019
34	キング醸造株式会社	③播磨	メーカー		—	—		○	2019
35	グローリー株式会社	③播磨	メーカー		○	N2			2020
36	株式会社クワタ	①神戸	商社		—	—			2021
37	ケンミン食品株式会社	①神戸	メーカー		—	—		○	2020
38	株式会社廣記商工	①神戸	メーカー		○	N1			2020
39	株式会社神戸新聞社	①神戸	広告・出版・マスコミ		—	—			2019
40	神戸信用金庫	①神戸	金融		—	—			2019
41	株式会社神戸製鋼所	①神戸	メーカー		○	N1	○		2019
42	神戸電鉄株式会社	①神戸	サービス・インフラ		—	—			2021
43	神戸トヨペット株式会社	①神戸	流通・小売	商社	○	特になし			2019
44	株式会社神戸ポートピアホテル	①神戸	サービス・インフラ		○	N1			2019
45	ゴダイ株式会社	③播磨	流通・小売	商社	—	—			2020
46	株式会社コタニ	③播磨	メーカー		○	N2		○	2019
47	株式会社ゴトウ・アズ・プランニング	③播磨	流通・小売	サービス・インフラ	—	—			2021
48	株式会社後藤回酒店	①神戸	流通・小売		—	—			2021
49	コベルコシステム株式会社	①神戸	サービス・インフラ		○	N1			2019
50	コベルコソフトサービス株式会社	①神戸	サービス・インフラ		○	特になし			2019
51	是常精工株式会社	③播磨	メーカー		○	N1		○	2019
52	株式会社サンエース	①神戸	商社		—	—			2019
53	三相電機株式会社	③播磨	メーカー		○	N1	○	○	2019
54	株式会社サンテレビジョン	①神戸	広告・出版・マスコミ		—	—			2022
55	山陽電気鉄道株式会社	①神戸	サービス・インフラ		—	—			2020
56	サンライズ工業株式会社	③播磨	メーカー		—	—			2022
57	ジィ・アンド・ジィ株式会社	①神戸	サービス・インフラ		—	—			2019
58	株式会社G-7ホールディングス	①神戸	流通・小売	サービス・インフラ	○	N2			2019
59	株式会社ジーライオン	①神戸	流通・小売	サービス・インフラ	—	—			2019
60	JA丹波ささやま	④丹波	サービス・インフラ	金融	—	—			2020
61	JAみのり	③播磨	金融		—	—			2021
62	株式会社指月電機製作所	②阪神	メーカー		—	—			2022
63	株式会社シマブンコーポレーション	①神戸	メーカー	商社	○	N1		○	2019
64	株式会社ジャヴァーコーポレーション	①神戸	流通・小売		—	—			2019
65	株式会社シュゼット	②阪神	メーカー	流通・小売	○	N2			2020
66	株式会社城山ホールディングス	③播磨	流通・小売		—	—			2020
67	神姫バス株式会社	③播磨	サービス・インフラ		○	N1			2019
68	TC神鋼不動産株式会社	①神戸	サービス・インフラ		—	—			2019
69	新生コベルコリース株式会社	①神戸	サービス・インフラ		—	—			2020
70	株式会社神明ホールディングス/株式会社神明	①神戸	流通・小売		—	—			2019
71	新明和工業株式会社	②阪神	メーカー		—	—			2019
72	株式会社スズキ自販兵庫	①神戸	流通・小売		○ ※技術職のみ	N2			2019
73	住友精密工業株式会社	②阪神	メーカー		—	—			2019
74	生活協同組合コープこうべ	①神戸	流通・小売		—	—	○		2019
75	セキスイハイム山陽株式会社	③播磨	メーカー		—	—			2019
76	株式会社ソネック	③播磨	サービス・インフラ		—	—			2020

	企業名	地域	業種①	業種②	留学生採用有無	求める日本語能力	ミモザ企業	地域未来牽引企業	年度
77	株式会社但馬銀行	⑤但馬	金融		—	—	○		2019
78	棚田建材株式会社	①神戸	サービス・インフラ		—	—			2021
79	但陽信用金庫	⑤但馬	金融		—	—			2020
80	株式会社TAT	②阪神	商社		○	N1			2019
81	DXアンテナ株式会社	①神戸	メーカー						2021
82	TOA株式会社	①神戸	メーカー		○	N2			2019
83	株式会社テイリーエッグ	③播磨	メーカー	流通・小売	○	N2相当			2022
84	東亜外業株式会社	①神戸	メーカー		—	—			2020
85	東洋物産工業株式会社	③播磨	メーカー		—	—			2019
86	東リ株式会社	②阪神	メーカー	メーカー	○	N1			2022
87	株式会社トーホー	①神戸	商社	流通・小売	—	—			2022
88	常盤薬品工業株式会社	①神戸	メーカー						2019
89	トクセン工業株式会社	③播磨	メーカー		○	N1		○	2019
90	富永貿易株式会社	①神戸	商社		○	特になし			2021
91	株式会社トムコ	①神戸	サービス・インフラ		—	—			2021
92	トヨタカローラ姫路株式会社	③播磨	流通・小売	商社	—	—			2020
93	株式会社トヨタレンタリース神戸	①神戸	サービス・インフラ		—	—			2019
94	株式会社トヨタレンタリース兵庫	①神戸	サービス・インフラ		○	N1			2021
95	トレーディア株式会社	①神戸	流通・小売		—	—			2019
96	西兵庫信用金庫	③播磨	金融		—	—			2019
97	日清鋼業株式会社	①神戸	メーカー		—	—			2020
98	日新信用金庫	③播磨	金融		—	—			2020
99	日本技術サービス株式会社	①神戸	サービス・インフラ		○	特になし			2021
100	日本赤十字社 兵庫県支部	①神戸	医療						2022
101	日本テクノロジーツリビューン株式会社	①神戸	メーカー	広告・出版・マスコミ	○	N1			2019
102	株式会社日本ビジネスデータープロセッシングセンター	①神戸	サービス・インフラ		○	N1			2019
103	株式会社ネクストページ	①神戸	サービス・インフラ		○	N1			2021
104	ネットヨタウエスト兵庫(株)	①神戸	流通・小売	商社					2021
105	ネットヨタナ神戸株式会社	①神戸	商社		—	—			2021
106	株式会社ノビア	①神戸	メーカー		○	N2			2019
107	株式会社ノーリツ	①神戸	メーカー		○	N1			2019
108	株式会社ハイレックスコーポレーション	②阪神	メーカー		○	特になし			2019
109	パイオニア精工株式会社	③播磨	メーカー		○	特になし			2020
110	白鶴酒造株式会社	①神戸	メーカー		○	N1	○		2019
111	株式会社阪技	③播磨	サービス・インフラ		—	—	○		2020
112	播州信用金庫	③播磨	金融		○	N1			2019
113	阪神ロジテム株式会社	②阪神	流通・小売		—	—			2019
114	バンドー化学株式会社	①神戸	メーカー		○	N2			2019
115	ピオフェルミン株式会社	①神戸	メーカー		—	—			2019
116	姫路信用金庫	③播磨	金融		—	—	○		2019
117	株式会社兵衛旅館	①神戸	サービス・インフラ		○	N2相当			2020
118	兵庫県信用組合	①神戸	金融		—	—			2020
119	兵庫信用金庫	③播磨	金融		—	—			2019
120	兵庫スバル自動車株式会社	①神戸	流通・小売		—	—			2021
121	兵庫ダイハツ販売株式会社	①神戸	流通・小売		—	—			2019
122	兵庫トヨタ自動車株式会社	①神戸	流通・小売		—	—	○		2022
123	兵庫六甲農業協同組合	①神戸	金融		—	—			2020
124	福辰合金株式会社	①神戸	メーカー		—	—			2021
125	フジッコ株式会社	①神戸	メーカー		○	特になし			2020
126	藤原産業株式会社	③播磨	商社		—	—			2019
127	株式会社ブレックス	①神戸	サービス・インフラ		○	N2			2019
128	株式会社ベベ	①神戸	流通・小売		—	—			2019
129	株式会社北神社	③播磨	サービス・インフラ		○	特になし			2021
130	ホテル日航姫路(姫路ホテルマネジメント株式会社)	③播磨	サービス・インフラ		○	N1			2021
131	株式会社ホテルニューアワジ	⑥淡路	サービス・インフラ		○	N2相当	○	○	2019
132	株式会社ホンダカーズ兵庫	②阪神	流通・小売		○	特になし			2020
133	株式会社松田組	②阪神	サービス・インフラ		—	—			2022
134	マルイチ株式会社	③播磨	商社		—	—			2019
135	株式会社マルハチ	②阪神	流通・小売		—	—			2020
136	株式会社みなと銀行	①神戸	金融		○	N1	○		2019
137	宮野医療器株式会社	①神戸	商社		—	—			2019
138	株式会社メディカロイド	①神戸	メーカー		—	—			2021
139	モラブ阪神工業株式会社	①神戸	サービス・インフラ		○	N2			2022
140	株式会社モリエン	①神戸	商社		—	—			2019
141	森合精機株式会社	③播磨	メーカー		○	N1			2019
142	ヤマダスター株式会社	③播磨	流通・小売		—	—			2021
143	大和工業株式会社	③播磨	メーカー		○	N1			2019
144	株式会社やよい	③播磨	商社		—	—			2019
145	株式会社夢舞台(グランドニッコー淡路)	⑥淡路	サービス・インフラ		○	N2相当			2019
146	株式会社横山基礎工事	③播磨	サービス・インフラ		○	N1		○	2020
147	株式会社吉田組	③播磨	サービス・インフラ		—	—			2020
148	株式会社レック	①神戸	サービス・インフラ		—	—	○		2019
149	株式会社ロック・フィールド	①神戸	メーカー	流通・小売	○	N1	○		2019
150	六甲山観光株式会社	①神戸	サービス・インフラ		—	—			2019
151	六甲バター株式会社	①神戸	メーカー		—	—			2020
152	株式会社ワールド	①神戸	メーカー		—	—			2020
153	和田興産株式会社	①神戸	メーカー		—	—			2019

2023年11月吉日

大学コンソーシアムひょうご神戸
事業委員会 委員長 各位

大学コンソーシアムひょうご神戸
理事長 中井 伊都子

拝啓 晩秋の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は当コンソーシアムの活動に深いご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当コンソーシアムでは、各事業委員会にて実施頂きました事業について「自己評価」を作成していただき、その内容をもとに企画運営委員会及び理事会にて事業の継続・改善等を検討することとしております。

つきましては、当コンソーシアムの活動の更なる充実のため、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

敬具

記

1. 各事業委員会への依頼内容と提出期限について

依頼内容：2023年度事業の実施内容（結果）と自己評価の作成、提出

2023年度事業計画（添付1）に基づき、プログラムごとに実施内容（結果）と自己評価を作成してください。12月以降に実施予定のプログラムについては、進捗状況を具体的に記入ください。

提出期限：12月5日（火）正午

2. 今後のスケジュール

- (1) ひょうご産官学連携協議会の構成員である兵庫県及び経済団体（兵庫県商工会連合会、兵庫県中小企業家同友会、兵庫県中小企業団体中央会）の意見聴取：12月
- (2) 第9回企画運営委員会による事業改善提案の検討：12月
- (3) 第5回理事会による事業改善提案の審議：1月
- (4) 各事業委員会へのフィードバックと2024年度事業計画・予算提出依頼：1月
- (5) 第11回企画運営委員会にて2024年度事業計画・予算検討：2月
- (6) 第6回理事会による2024年度事業計画・予算審議：3月
- (7) ひょうご産官学連携協議会にて、2024年度事業計画・予算審議：3月

(添付書類)

- ・添付1 2023年度 事業計画（事業委員会別）

以上

【問い合わせ先】大学コンソーシアムひょうご神戸事務局（担当：足立・大濱）
電話：078-271-0233 メール：kanri@consortium-hyogo.jp

【2023年度 キャリア委員会 自己評価】(案)

委員長校 : 関西学院大学

副委員長校: 関西福祉大学、甲南女子大学、神戸国際大学

委員校: 芦屋大学、大手前大学、大手前短期大学、関西国際大学、甲南大学、神戸大学、
 神戸海星女子学院大学、神戸学院大学、神戸市外国語大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸親和大学、
 神戸常盤大学、神戸常盤大学短期大学部、聖和短期大学、園田学園女子大学、
 園田学園女子大学短期大学部、姫路獨協大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、兵庫県立大学、
 流通科学大学

計25校

<目的>

兵庫県の大学・短期大学・短期大学部・高等専門学校が加盟する大学間連携組織の特徴を生かして、グローバル、ローカルに活躍する人材育成を目指した事業を、県内企業、行政、加盟校キャリアセンターと共に展開する。

<内容>

1. 大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクト
2. 県内企業・団体等の魅力を情報発信
3. 留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム
4. 外国人留学生採用ワンストップ支援事業

<期待される効果>

1. 地域創生の推進にあたり県外への人口流出を抑制するために、県内大学卒業者の地元への就職について、大学側と企業側が相互理解を深め共に連携する機会を提供することで、若者のキャリア形成の支援を充実させ、大学生の県内企業への理解不足を解消し、地域の活性化を実現することが期待される。
2. 地域の活性化のためのUJIターン就職の促進と地域産業ニーズに対応した人材育成が期待できる。
3. 各加盟校単独では実施が困難と思われる、「留学生に特化したインターンシップ」や「合同企業説明会」実施に向けて、持続可能な仕組みづくりが期待される。
4. 外国人留学生を企業が受け入れるための体制支援を強化し、外国人留学生採用のためのワンストップ相談窓口をコンソが担うことで、大学、行政、企業が連携した新たなネットワークを構築が期待できる。

課題① 地域の活性化のための県内企業への就職率の向上		予算額
取組1	大学連携組織を活用した 県内大学生の地元就職促進プロジェクト	5,246,000円 * 受託事業収入
取組2	県内企業・団体等の魅力を情報発信	0円
課題④ 外国人留学生の受け入れ体制の強化・定着促進		予算額
取組1-1	留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム	1,000,000円
取組1-2	外国人留学生採用ワンストップ支援事業	6,140,000円 * 受託事業収入

※事業計画実施の際は、新型コロナウイルス(COVID-19)感染症拡大防止のため、イベントの内容・方法の変更などについて、状況に応じて委託元の兵庫県とも協議のうえ実施する。

【2023年度 キャリア委員会 自己評価(①取組1)】

【①取組1】達成目標	本プログラムへの参加を通じて兵庫県内企業理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の70%以上
【①取組1】活動指標	各年参加者数500名以上

課題①	地域の活性化のための県内企業への就職率の向上
達成目標【①取組1】	本プログラムへの参加を通じて兵庫県内企業理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の70%以上
課題を解決する取組概要【①取組1】	大学キャリアセンターと連携した県内大学生の地元就職促進プロジェクト <若者の地元密着のための就職支援事業> 兵庫県の年齢別転出超過で最も多いのは、大学卒業・就職を契機とした若者であり、県内大学卒業者の『県内企業就職率』は、3割弱に過ぎず、7割以上が県外に本社のある企業に就職している。その要因の一つとして、大学生の県内企業への理解不足があると考えられる。県内大学卒業者の地元への就職について、大学側と企業側が相互理解を深める機会を提供する。地元企業と加盟校が連携することで、若者のキャリア形成の支援を充実させ、地域の活性化を実現する。
活動指標【①取組1】	参加学生数:450名以上、参加教職員数:50名以上(2023年度)

内容 (結果)	【兵庫県総務部教育課 受託事業「大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクト」】 I、大学キャリアセンター教職員に対する県内企業の理解促進に向けた取組 1)キャリアセンター対象の合同企業説明会:2024年3月予定 中小企業家同友会と連携の上、キャリアセンター職員向けの合同企業説明会を開催 2)企業とキャリアセンターとの意見交換会(計4回) 大学が目指す人材育成、企業が求める人材像について、キャリアセンターと県内企業が意見交換を行う。 ①2023年9月16日(土)インターンシップ参加企業×大学 参加者:(教職員)11校12名(企業)17社22名 ②2023年10月18日(協業:神戸商工会議所) 参加者:(教職員)23校30名(企業)76社109名 ③2023年12月1日(協業:淡路商工会議所) 参加者:(教職員)10校10名(企業)7社参加予定 ④2024年1月20開催予定 合同模擬参加企業×大学 3)情報技術を活用した魅力ある情報技術を活用した魅力ある県内中小企業情報の発信(計3回) 学生視点による企業の紹介動画コンテンツを作成・配信。11月末HP掲載予定。 企業課題解決プログラム参加企業・大学(TAT×甲南大学、みなと銀行×神戸学院大学)に依頼中。 4)県内企業間の情報連携(計3回) 県内企業に就職した県内大学生を対象に、その企業に就職した理由等を調査し情報共有する。 エムシーシー食品株式会社、日本テクノロジーソリューション株式会社、和田興産株式会社 に依頼中。 (「地元で働こう!兵庫県内企業情報サイト」掲載/賛助会員企業)11月末HP掲載予定。 II、大学生に対する県内企業の理解促進に向けた取組 1)経営者による職業観形成プログラム(計2回) 県内中小企業の経営者が、地域に根差した先進的・実践的な自社の取組や課題解決事例等、直接学生に講話し、学生の地元意識の高揚を図る。 ①2023年7月8日(土):剣道体験から知る 参加者:(学生)14校62名(教職員)6校9名(企業)2社2名 ②2023年10-2024年2月:産学連携リーダーシップ研修 参加者:(学生)3校25名(教職員)2校6名(企業)3社9名 2)若手社員による学生啓発プログラム(計2回) ①2024年1月20日開催:合同模擬グループディスカッション・面接大作戦 ②2024年12月9日/2月17日開催予定:加盟大学合同キャリアセミナー ③2024年2月:阪神方面バスツアー(協業:尼崎経営者協会) ④2024年2月8日:オンライン就職セミナー(協業:兵庫県中小企業家同友会)
	新しい試み等(事業計画に記載) ・過去3年間実施してきた「県内企業魅力発見動画」を発展させ、より学生が親しみやすい形での動画作成・配信を行う。 ・県内大学生の県内企業への就職実例(成功事例)取材し情報発信することで、学生企業双方にとって、県内企業への就職のきっかけとする。「地元で働こう!兵庫県内企業情報サイト」との連携を図る。 ・加盟大学キャリアセンター合同でのキャリアセミナーを開催する。「合同模擬グループディスカッション」の前後に実施することで、より効果的に加盟校学生の就活力の向上を目指す。

事業収支	収入	支出	収支	備考
	5,246,000円		3,592,801円	11月末現在、3月末全額執行予定

自己評価	【対到達目標】	3	【対継続性】	4
	<p><達成目標>本プログラムへの参加を通じて兵庫県内企業理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の70%以上 <活動指標>参加学生数:450名以上、参加教職員数:50名以上(2023年度) <2023実績>活動指標となる参加学生数に関しては、11月末時点の参加学生数:87名、教職員数:57名。事後アンケート結果「県内企業への理解や興味は深まった」88.9%。今後開催イベントでの参加見込み学生:約350名、教職員:50名のため、目標値(学生:450名、教職員:50名)は達成できる見込みである。</p> <p>I、大学キャリアセンター教職員に対する県内企業の理解促進に向けた取組 「企業とキャリアセンターとの意見交換会」は県内企業と学校が一同に会える場において企業開拓と企業理解を同時に行えるのが大きな利点であり、大学教職員にとっては学生支援に有効な情報を得る機会となる。また2025年に初めての卒業生を排出する芸術文化観光専門職大学にとっては、自学で育てた学生を企業にPRする場となった。 「情報技術を活用した魅力ある情報技術を活用した魅力ある県内中小企業情報の発信」では、学生視点による企業の紹介動画コンテンツを作成・配信することを目的とし、企業課題解決プログラムの参加企業・大学に作成を依頼、コンソHPにて広く公開することにした。動画の企画・撮影は神戸学院大学と甲南大学の学生が参加し、企業研究機会提供の場ともなった。 「県内企業間の情報連携」では、学生と県内企業に向けての情報提供として、県内企業に就職した県内大学生にその企業に就職した理由等を調査しコンソHPにて公開する。今年度は「地元で働こう!兵庫県内企業情報サイト」掲載/賛助会員企業から3社に依頼し、記事を作成、HPに掲載を行った。</p> <p>II、大学生に対する県内企業の理解促進に向けた取組 県内大学に所属する学生たちが、経営者や若手社員との交流を通して仕事に対する考え方やキャリアビジョンの様々な視点を持つことで、県内での就職や生活するメリットを感じ、県内企業への就職の可能性を見出された。また、就職活動行動に繋がるなど、次へのアクションへのきっかけを提供できた。また、経営者の熱い想いを直接受け取り、会社の存在意義や今後の発展に必要な考え方、若い力の必要性などを学べたほかに、単に企業情報だけでなく、社会人としての働き方や生き方についてじっくり話ができる機会にもなった。昨年度事業への参加がきっかけとなって採用選考参加に繋がる事例が実際に見られていることから、これらの事業を通して学生たちの県内企業への理解や興味関心が深まり、県内企業就職への可能性が見出せているという点において目的を達成できたと考える。</p>			

■自己評価基準 (対到達目標) 4:当初計画を上回って達成
 3:当初計画を達成
 2:当初計画をやや下回った
 1:当初計画を下回った

■自己評価基準 (対継続性) 4:本プログラムは継続すべき
 3:本プログラムは継続しても良い
 2:本プログラムの継続には改善が必要
 1:本プログラムは中止すべき

理事会からの改善提案(次年度事業計画に反映)	
------------------------	--

【2023年度 キャリア委員会 自己評価(①取組2)】

【①取組2】達成目標	情報公開企業・団体数120社以上
【①取組2】活動指標	企業情報の追加掲載 2種類以上

課題①	地域の活性化のための県内企業への就職率の向上			
達成目標【①取組2】	情報公開企業・団体数120社以上			
課題を解決する取組概要【①取組2】	<p>県内企業・団体等の魅力を情報発信 地域の産業界の協力を得て県内企業や団体等の情報を収集し、大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページに公開するとともに、兵庫県内の職業紹介サイト等との連携も図る。加えて、県内企業・団体等が求める人材について、情報交換会等を通じ、企業と大学間で人材ニーズと人材育成に関する情報の共有と相互理解を深める。</p>			
活動指標【①取組2】	企業情報の追加掲載 2種類以上			
内容 (結果)	<p>「地元で働こう！兵庫県内企業情報サイト」に随時情報公開。 《掲載内容》業種、資本金、売上高、従業員数、本社所在地、事業内容、経営方針、特色・強み、採用情報(外国人留学生採用予定を含む)(企業HPへリンク)</p> <p>※兵庫県内協力企業152社掲載中(2023年3月時点) 12月1日の第3回キャリア委員会にて協議後、今年度1社追加、合計153社の掲載。</p> <p>※掲載企業情報の内容を充実するため、企業情報欄に下記の情報を追加掲載。 【追加情報】 ・ミモザ企業 (該当企業:16社) ・地域未来牽引企業 (該当企業:15社)</p> <p>※キャリア委員校と連携して2023年度企業掲載準備を行い、委員会で企業情報の追加内容を確定した上で、テストページ上にて、上記2項目を追加、各企業の該当有無を反映したうえで、掲載企業による内容の確認を経て、本年度版「地元で働こう！兵庫県内企業情報サイト」に反映。</p>			
新しい試み等(事業計画に記載)	「地元で働こう！兵庫県内企業情報サイト」の掲載情報の充実を図りため、掲載企業の情報を追加し、「業種から探す」へ医療系の検索項目を設ける。			
事業収支	収入 0円	支出 0円	収支 0円	備考

自己評価	【対到達目標】	3	【対継続性】	4
	<p><達成目標> 情報公開企業・団体数120社以上 <活動指標> 企業情報の追加掲載 2種類以上 <2023年度実績> 各企業の掲載情報を2種類追加し、HPへ掲載済のため、現時点で達成している。</p> <p>昨年度まで、キャリア委員会に所属する大学と連携し企業開拓を行ってきた。今年度は掲載企業の特色やアピールポイントの可視化に重点を置いた。また、取組1で実施した先輩社員情報を本リストに掲載するなど情報の充実化を図り、2023年度の達成に向けて着実な成果を上げる事ができた。今後も情報の充実化を行い、県内企業への就職を希望する学生に対して、視覚的に県内企業の魅力を伝えるべく、事業の継続が必要である。</p>			

- | | |
|--|---|
| <p>■自己評価基準
(対到達目標)</p> <p>4:当初計画を上回って達成
 3:当初計画を達成
 2:当初計画をやや下回った
 1:当初計画を下回った</p> | <p>■自己評価基準
(対継続性)</p> <p>4:本プログラムは継続すべき
 3:本プログラムは継続しても良い
 2:本プログラムの継続には改善が必要
 1:本プログラムは中止すべき</p> |
|--|---|

理事会からの改善提案(次年度事業計画に反映)	
------------------------	--

【2023年度 キャリア委員会 自己評価(④取組1-1)】

【④取組1】達成目標	本プログラムへの参加を通じて日本企業・文化理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の70%以上
【④取組1】活動指標	各年参加者数500名以上

課題④	外国人留学生の受け入れ体制の強化・定着促進								
達成目標 【④取組1-1】	本プログラムへの参加を通じて日本企業・文化理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の70%以上								
課題を解決する 取組概要 【④取組1-1】	留学生向け就職支援・キャリア教育プログラムの実施 個別大学では実施が困難な留学生に特化したインターンシップの機会提供を共同で実施し、留学生の県内企業等への就職意欲の向上を図る。参加留学生のニーズを勘案のうえ、受入企業、団体等を決定する。								
活動指標 【④取組1-1】	参加留学生数：500名以上(2023年度)								
内容 (結果)	<p>I. 留学生支援プログラム(ひょうご留学生インターンシップ) 個別大学では実施が困難な留学生に特化したインターンシップの機会提供を共同で実施し、留学生の県内企業等への就職意欲の向上を図る。参加留学生のニーズを勘案のうえ、受入企業・団体等を決定する。</p> <p>【プログラムスケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ説明会(オンライン)4月～5月複数回 参加者：(学生)14校95名(教職員)2校3名 ・エントリー学生ガイダンス 6月 6日(火) 参加者：(学生)13校53名(教職員)1校1名 ・エントリー学生と企業の交流会 6月10日(土) 参加者：(学生)13校52名(教職員)2校2名(企業)16社25名 ・企業・団体実習期間 8月 1日(火)～9月15日(金) ・報告会・修了交流会 9月16日(土) 参加者：(学生)12校35名(教職員)11校14名(企業)18社23名 <p>【修了生数】12大学38名 内訳：芦屋大学(1)、関西学院大学(3)、関西国際大学(1)、甲南女子大学(1)、神戸学院大学(2)、神戸芸術工科大学(1)、神戸国際大学(9)、神戸親和大学(2)、神戸大学(9)、兵庫県立大学(4)、兵庫大学(3)、流通科学大学(2)</p> <p>【受入企業数】22社50件(うち実習修了：21社48件／新規受入：1社)</p> <p>II. 留学生支援プログラム(外国人向け合同企業説明会) 留学生と県内企業とのマッチングを行う企業説明会・就職セミナー等を開催する(協業：神戸市、兵庫県) ・外国人向け合同企業説明会(2023年6月21日) 参加者：(学生)817名(加盟校13校223名)、企業60社</p>								
新しい試み等 (事業計画に記載)	今年度より「ひょうご留学生インターンシップ」プログラムが大きく変更となるが、コンソの特性とこれまでのノウハウの蓄積を活かして、留学生の採用に積極的な企業と留学生・大学との出会いと繋がりを作り場づくりはこれまで同様に行っていく。実習先決定手法として「兵庫県インターンシップシステム」の利用や、別事業との連動による必要知識の習得機会の提供などを行いながら、日本での就職を希望する留学生に必要な学びの場を提供していく。								
事業収支	<table border="1"> <tr> <td>収入</td> <td>支出</td> <td>収支</td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td>1,000,000円</td> <td></td> <td>1,000,000円</td> <td>0円</td> </tr> </table>	収入	支出	収支	備考	1,000,000円		1,000,000円	0円
収入	支出	収支	備考						
1,000,000円		1,000,000円	0円						

自己評価	【対到達目標】	4	【対継続性】	4
	<p><達成目標>本プログラムへの参加を通じて日本企業・文化理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の70%以上 <活動指標>参加留学生数：500名以上(2023年度) <2023年度実績>参加留学生数：855名(11月末現在)、本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の100%であり、目標を達成している。</p> <p>I. ひょうご留学生インターンシップ 今年で15年目を迎える本プログラムは、14年間で599名の修了生を輩出し、その6割以上が日本で就職するなど日本での就職を希望する留学生にとって意義のある事業となっている。昨年度までは兵庫県からの受託事業の一環として実施してきたが、今年度よりキャリア委員会の自主事業として位置づけられることとなり、従来のプログラムから内容を変更しながら実施した。また三省合意インターンシップが今年度より施行されたことを受けてタイプ1～3に対応して実施した。今年度は12大学10か国38名の学生が21企業・団体での実習を修了した。成果報告会には受入企業18社大学11校が出席、受入企業からは高い評価を得、参加した留学生の意識の向上も認められるなど、当初期待以上の効果を上げることができた。参加企業と大学の情報交換の場では、今年度も当プログラムを通じて採用に繋がったケースが報告され、県内企業にとっても外国籍社員活用のために役立つプログラムとして認知が広がっていること、より多くの企業と大学の更なる連携により優秀な留学生の教育と活用の循環が活発に生まれることへの期待が示された。次年度も加盟大学の理解と協力を得て連携を更に深めながらプログラム推進に努めたい。</p> <p>II. 外国人向け合同企業説明会 兵庫県・神戸市共同開催となった今年度の合同企業説明会は、企業60社、817名の留学生が参加。9月末時点で18社26名の内定に繋がった。近年留学生の県内企業就職への関心が高まっていることに加え、外国籍社員の採用に積極的な県内企業の増加と、行政がそれを推進したいという想いの高まりが現れた会となった。また、今年は会場に「外国人採用ワンストップ相談窓口」のブースも設け、関係機関と共に留学生・企業の相談に当たった。この合同企業説明会は、コンソの独自事業として2013年に開始以来(神戸市との共催は2017年から)、この11年間で延べ9,198名の留学生が参加し、143名の内定実績を出している。また、この参加企業から「ひょうご留学生インターンシップ」受入企業に繋がりが、インターンシップ修了生の事後フォロー企業としても関わりを持つなど、留学生インターンシッププログラムとも密接に関わる事業となっている。日本での就職を希望する留学生にとって、留学生を採用したい地元企業にとってお互いを知り、出会う機会である本プログラムは、加盟校の留学生就職支援のためには不可欠であるため、引き続き兵庫県・神戸市と協力して継続していきたい。</p>			

■自己評価基準
(対到達目標)

- 4:当初計画を上回って達成
- 3:当初計画を達成
- 2:当初計画をやや下回った
- 1:当初計画を下回った

■自己評価基準
(対継続性)

- 4:本プログラムは継続すべき
- 3:本プログラムは継続しても良い
- 2:本プログラムの継続には改善が必要
- 1:本プログラムは中止すべき

理事会からの 改善提案 (次年度事業計画に反映)	
--------------------------------	--

【2023年度 キャリア委員会 自己評価(④取組1-2)】

【④取組1】達成目標	本プログラムへの参加を通じて日本企業・文化理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の70%以上
【④取組1】活動指標	各年参加者数500名以上

課題④	外国人留学生の受け入れ体制の強化・定着促進								
達成目標【④取組1-2】	本プログラムへの参加を通じて日本企業・文化理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の70%以上								
課題を解決する取組概要【④取組1-2】	外国人留学生採用ワンストップ支援事業 高度な技術力や知識を有する外国人留学生の円滑な県内就職を促進するため、留学生と企業それぞれを対象として、留学生の採用から採用後の職場定着までを支援する事業を行う								
活動指標【④取組1-2】	参加者数：50名以上(2023年度)								
内容(計画)	<p>【兵庫県産業労働部国際局国際課経済交流班受託事業「外国人留学生採用ワンストップ支援事業」】</p> <p>事業内容</p> <p>(1)外国人留学生採用ワンストップ相談窓口の設置</p> <p>①窓口相談 日本での就職を希望する留学生及び留学生の採用を検討している企業の双方からの相談を対面・オンライン・メール・電話等により実施し、それぞれの実情に即したアドバイスを行う。 ア:窓口相談の対象者 a 留学生(既卒の就職者を含む。) b 留学生の採用を検討している企業及び留学生を採用した企業 イ:相談内容 a 留学生の国内就職に関する相談及び県内企業による採用・人材活用に関する相談対応 b 留学生向け合同企業説明会やインターンシップ等の紹介</p> <p>②専門家派遣等 留学生の採用及び人材活用に係る高度な相談に専門家と連携して対応するとともに、必要に応じて専門家が企業を訪問し、指導・助言を行うことで企業側の受入体制を整備する。 ア:対象 留学生の採用を検討している企業、留学生を採用した企業 イ:内容 a 留学生の採用・人材活用に係る専門的な内容に対する面談または電話での相談対応 b 留学生の受入体制整備等に向けた相談企業への専門家派遣</p> <p>(2)外国人留学生採用促進セミナーの開催 留学生の採用や入社後の人材活用にに向けた企業向け啓発セミナーを実施することにより、県内企業における人材確保を促進する。また、セミナーの内容をアーカイブ配信し、県内企業への効果的な啓発を実施する。 ①対象 留学生の採用を検討している県内企業 ②回数 年1回 ③内容 留学生に対する基本的な理解促進、先進事例及び支援事業紹介 ④アーカイブ配信 セミナーの内容を動画撮影し、動画配信サイト等で配信する。</p> <p>(3)情報収集 留学生の就職に関する各種情報の収集に努めるとともに、県内企業による相談窓口活用を促す。</p> <p>業務体制</p> <p>(1)相談窓口には相談員を1名配置する。 (2)相談員は外国人留学生のキャリアアップ支援等に従事した経験があり、企業・外国人留学生の双方への相談対応が可能な人材とする。 (3)相談窓口の開所時間は、月・水・金曜日の9:00～16:00(年末年始、土日祝日を除く)とする。</p>								
新しい試み等(事業計画に記載)	新卒の学生が減少し人手不足感が強まるなか、留学生は年々増加している状況で、「日本での就職を希望する留学生を支援すること」と「企業の留学生の受け入れ態体制を支援すること」を大学間連携、産官学連携組織としてのコンソの実績と強みを生かした方法で、企業の人材確保に貢献し、県内企業の活性化につなげる。								
事業収支	<table border="1"> <tr> <td>収入</td> <td>支出</td> <td>収支</td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td>6,140,000円</td> <td>4,315,811円</td> <td></td> <td>11月末現在、3月末全額執行予定</td> </tr> </table>	収入	支出	収支	備考	6,140,000円	4,315,811円		11月末現在、3月末全額執行予定
収入	支出	収支	備考						
6,140,000円	4,315,811円		11月末現在、3月末全額執行予定						

自己評価	【対到達目標】	4	【対継続性】	4
	コンソの従来の留学生の就職支援をベースに、兵庫県と協働で、県内の経済団体(神戸経済同友会、兵庫県中小企業家同友会、兵庫県中小企業団体中央会、ジェトロ神戸、神戸商工会議所、尼崎商工会議所、姫路商工会議所等)や国際交流機関(兵庫県国際交流協会、神戸国際コミュニティセンター)、行政(大阪出入国在留管理局神戸支局)等との連携を強化し、支援窓口としての基礎を築いた。窓口業務に加え個別企業説明会等、留学生と企業がより就職・採用に繋がる支援も開始した。			

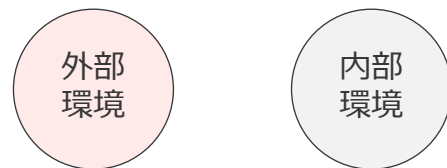
- | | |
|---|--|
| <p>■自己評価基準
(対到達目標)</p> <p>4:当初計画を上回って達成
3:当初計画を達成
2:当初計画をやや下回った
1:当初計画を下回った</p> | <p>■自己評価基準
(対継続性)</p> <p>4:本プログラムは継続すべき
3:本プログラムは継続しても良い
2:本プログラムの継続には改善が必要
1:本プログラムは中止すべき</p> |
|---|--|

理事会からの改善提案(次年度事業計画に反映)	
------------------------	--

コンソの目指す姿 「Diversity, Equity & Inclusion」
～多様なメンバーが 学校を超えて フラットに学び合い 繋がる～

ビジョン 大学間連携・産官学連携で
「人が繋がり、多様な学びを共創する“ひょうご神戸”」

戦略 ①情報共有と発信 ②人的交流の促進
③ステークホルダーとの有機的連携



市場機会の特定

セグメンテーション
ターゲティング
ポジショニング

マーケティングミックス
プロダクト・プライス・プレイス・プロモーション

※実行・モニタリングでPDCA回す

2022年度
策定

2023年度
策定

中長期計画Ⅱ期（柱4）
「加盟校が活性化する大学間連携組織
としての運営体制の構築」

【アンケート目的】

教職員・学生・地域社会のステークホルダー等に対するコンソの認知度向上、イメージのアップのための事業設計、広報活動等に生かすため

【アンケート活用】

- 現状把握することで今後の効果的な情報発信施策に活用
- 理想ターゲット層を増やす施策の立案

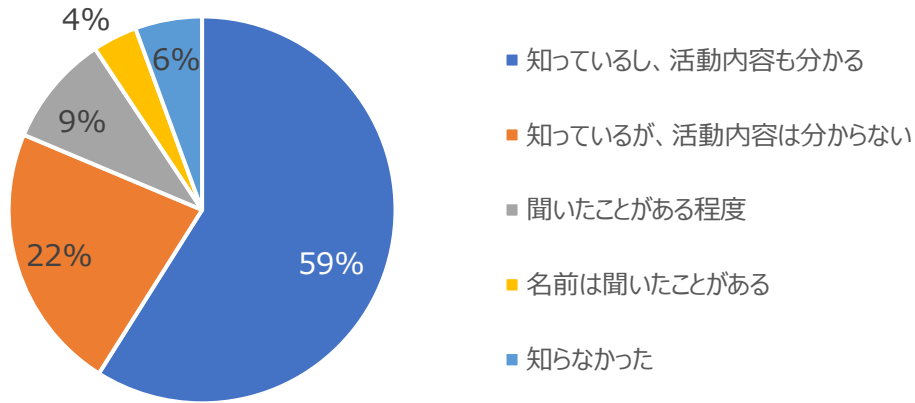
※ターゲットペルソナのカスタマージャーニーは別紙参照（お手隙時にお目通し下さい）



【成果】※短期目標は10月末

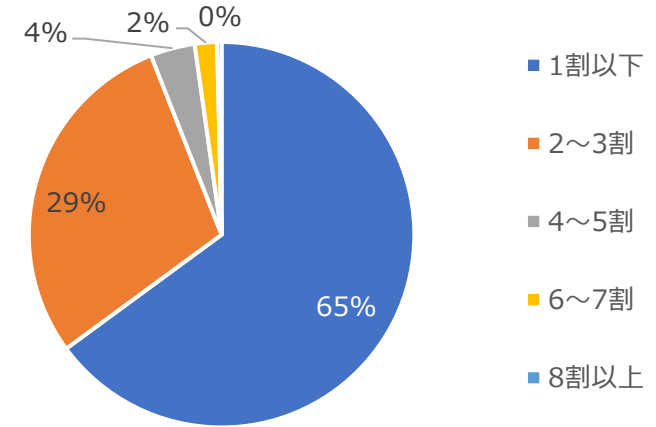
- 市場機会を特定し、（神戸PF等との）差別化
- ステークホルダーにおけるコンソの認知・理解・関与を高める

教職員における大学コンソーシアムひょうご神戸の認知



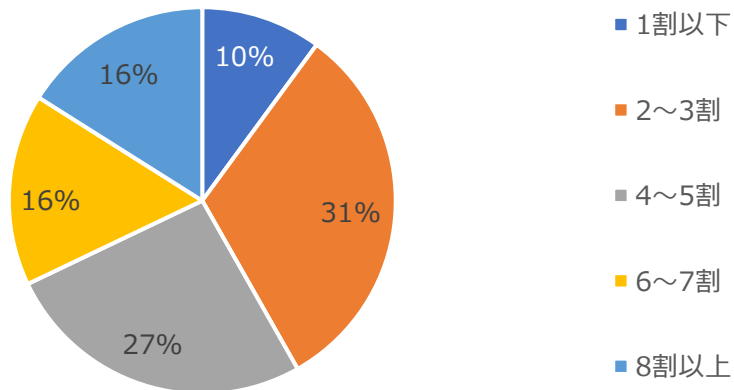
- 職員・教員におけるコンソ認知は81%、理解度は59%。想定より認知されている状況。
- 特に一般職員の課長以下には、一定の認知があると言える（合計38%）
また教授も合計17%認知されており、“知っている人は知っている”状態。

自大学の「学生」の何割が、コンソを認知していると思うか？



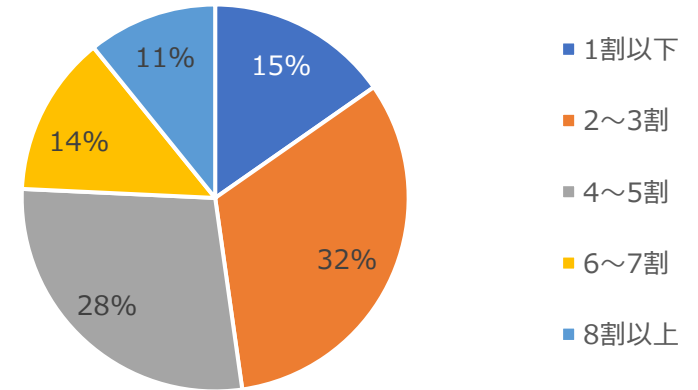
- 過半数となる65%の人が「1割以下」と回答。
自学の学生には10%も知られていないと認識されている。

自大学の「職員」の何割が、コンソを認知していると思うか？



- 最も多いのが「2～3割」と回答（32%）。次いで、「4～5割」と回答（26%）。
多くはないが、一定数の職員が知っていると感じている。

自大学の「教員」の何割が、コンソを認知していると思うか？



- 最も多いのが「2～3割」と回答（32%）。次いで、「4～5割」と回答（28%）。
多くはないが一定数の教員が知っていると感じている。

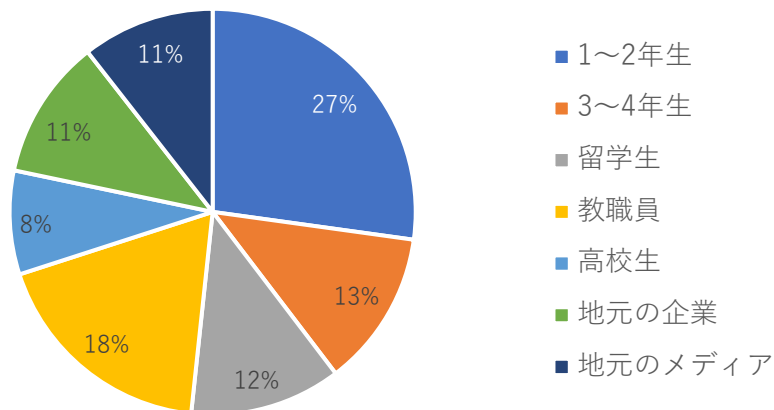
アンケート結果（270件・33校）まとめ②

コンソの強み・特長と思うもの

加盟大学数	121	13%
加盟大学の合計学生数	48	5%
留学生ネットワーク	57	6%
留学生支援の実績	62	7%
キャリア支援の実績	41	4%
大学間の交流	178	19%
イベントの企画力	63	7%
地元企業とのつながりが深い	71	8%
産学連携の実績	77	8%
高大連携の実績	32	4%
FD・SDの実績	42	5%
加盟大学の教授や学生、OBOGの活用	25	3%
加盟大学とつながりある企業やスポーツチームなどの活用	28	3%
官公庁とのつながり	68	7%

913

コンソの認知アップのため、どの層をターゲットにすべきか



- 「1～2年生」を優先すべきとの声が多い。「3～4年生」向けを挙げる声は限定的。
- 「総合大学の教職員」を挙げる声が多く、いかに総合大学との交流を広げるか、リソース活用ができるかが1つの鍵と言える。

コンソのイベントの告知などは、どこで行われているか

学生向けホームページ	92	15%
留学生向けホームページ	22	4%
一般公開している大学のホームページ	79	13%
学生向けにメール送信	86	14%
留学生向けにメール送信	29	5%
学内の掲示板	161	27%
キャリア支援センター内の掲示板	35	6%
大学の公式SNS	26	4%
授業内で告知	15	3%
その他	55	9%
	600	

アンケートのまとめ

課題① 認知

教職員には一定認知があるが、加盟校学生の認知は10%未満。
⇒ **学生の認知と利用促進を高めるべき！**

課題② 理解

・「大学間の交流」「加盟校数」が強みと認識されているが、他は強みとしての認識が弱い。具体的なメリットベースでない。
・「加盟大学の教授や学生、OBOGの活用」「加盟大学とつながりある企業やスポーツチームなどの活用」等を活用できてない
⇒ **強みをより活用し、効果的・効率的なアピールをすべき**

課題③ ターゲット

対象学生は、1～2年生ないし高校生向けに行うべき
⇒ **ニッチターゲットではなく早期学生からの取込みを狙うべき**

課題④ 伝え方

コンソの取組の告知は、掲示板や学内向け／一般向けホームページが主となっており、“それ以外にない”感がある。
⇒ **SNSなど、学生にもっと伝わるチャネル活用を！**

加盟校の課題

- どの大学も共通するのは、入学者の確保、資金調達が主。
- 中小規模の大学に追加で共通して入るのは、認知やブランディングが低い、事務スタッフ不足。
- どの大学も喫緊の課題を抱えており、なんとかやりくりしている現状が見られる。

コンソ参画のメリット

- メリットとして共通するのは、学生の交流（他大学の学生やナレッジ等）
スタッフ目線では、職員同士の横のつながりや、研修などによる知識の補完が挙げられた。
- 私立の中小規模大学は、補助金採択のメリットも挙げられていた。
- 挙げられたメリットは教科書的なものが多く、実感値のある効果、課題解決につながるものかという意味では補助金の件を除くと、あまりないのが実情と言える。

コンソへの理想

- 全体的に、コンソへの理想像、希望はあまり挙げられなかった。
- 声としては、職員研修などスタッフ不足の解決が多く、中長期のゴールというより身近な課題解決であった。
- メリットの平等性や、大学同士がライバルでもあることから、大きく利活用できる組織という認識されてない。
「明確なメリット」の成功事例を作り、増やし、認識を変えることが重要。

<加盟校のメリットにつながるコンソの役割>

≡コンソのプレゼンス向上につながる取組みの方向性

1. PR・プロモーション

…各大学の認知度の向上・PR強化が入学生の確保や外部資金の調達に繋がること。

- ①学生によるSNSアカウント運用
- ②共同開講

2. 学内業務の効率化

…若手職員に対して研修や、ナレッジの共有や機会提供、緊急時対応など

- ①FD・SDの共通化
- ②共同調達
- ③大学で働く契約職員の人材紹介

3. 外部資金の調達

…補助金や企業等から外部資金を獲得すること

- ①補助金・助成金サポート



アンケートでも必要性は示されていたもの



新たに必要性として検討すべきこと



<補足>

「学生同士の交流」「学生の学びの幅を広げる」ことは、一定できている、ベースとしてある認識。＝事業として最低限の位置づけに近い。ここを担保した上で、出資者である加盟校が実感値としてのメリットを感じる必要がある。

R5.11.20

尼崎市役所しごと支援課

R6 年度インターンシップ等推進事業（大学生職場体験）実施案

◇事業名称

インターンシップ等推進事業（旧；実践型インターンシップ推進事業）

◇事業目的

地域に根付き地域経済を支えている市内企業の魅力を将来の産業界を担う若者に発信し、また体感できる場を提供することで、学生の社会人基礎力の養成や市内企業の魅力向上を図る。

◇対象

大学コンソーシアムひょうご神戸の加盟校に在籍する学生
（学部3年生、大学院1年生を主体とするが、全学年参加可能）

◇実施内容

中小企業や大手企業、幅広い業種を一度に見ることができる体験コースを実施し、参加者にインターネット情報では得られない実体験をしてもらう。

[内容]

- ・ 尼崎市内の中小企業、大手企業等、系統の異なる複数の企業を組み合わせた職場体験の実施（例：尼崎市内企業3社を1コースとし、1社あたり半日～1日程度ずつのコースを3コース、合計9社で実施。参加者（学生）は各コース5名を想定。）
- ・ 受入企業には事業内容や業界説明、工場等見学のほか、可能であれば就労体験も設けてもらう。
- ・ 実施後、参加者と受入企業にアンケートを実施し、分析結果を報告。

[実施時期]

大学の夏季休暇期間（8～9月）を想定

◇委託予算金額

50万円（予定）

◇その他

- ・ 参加学生は設定されている日程（1コース）全て参加することを原則とする（参加希望者が多い場合はその者（全コース参加可能な学生）を優先し、選定する）。
- ・ 参加学生への報酬は無給。体験先への交通費及び昼食代は学生負担とする。
- ・ 参加学生には体験期間中の事故等に備えて傷害保険及び損害賠償保険を案内。

以 上

大学コンソーシアムひょうご神戸

ひょうご留学生インターンシップ

2024年度概要

■設立:

平成18年(2006年)6月12日 (平成28年4月1日 一般社団法人を設立)

■正会員:

38校(30大学、7短期大学・短期大学部、1高等専門学校)

学生数: 約10万人

■賛助会員: 39企業・団体

■特別会員: 1団体(独立行政法人 日本学生支援機構)

設立の主旨:

国際性を中核に、兵庫県の特徴を活かし教育水準の向上と地域振興に貢献

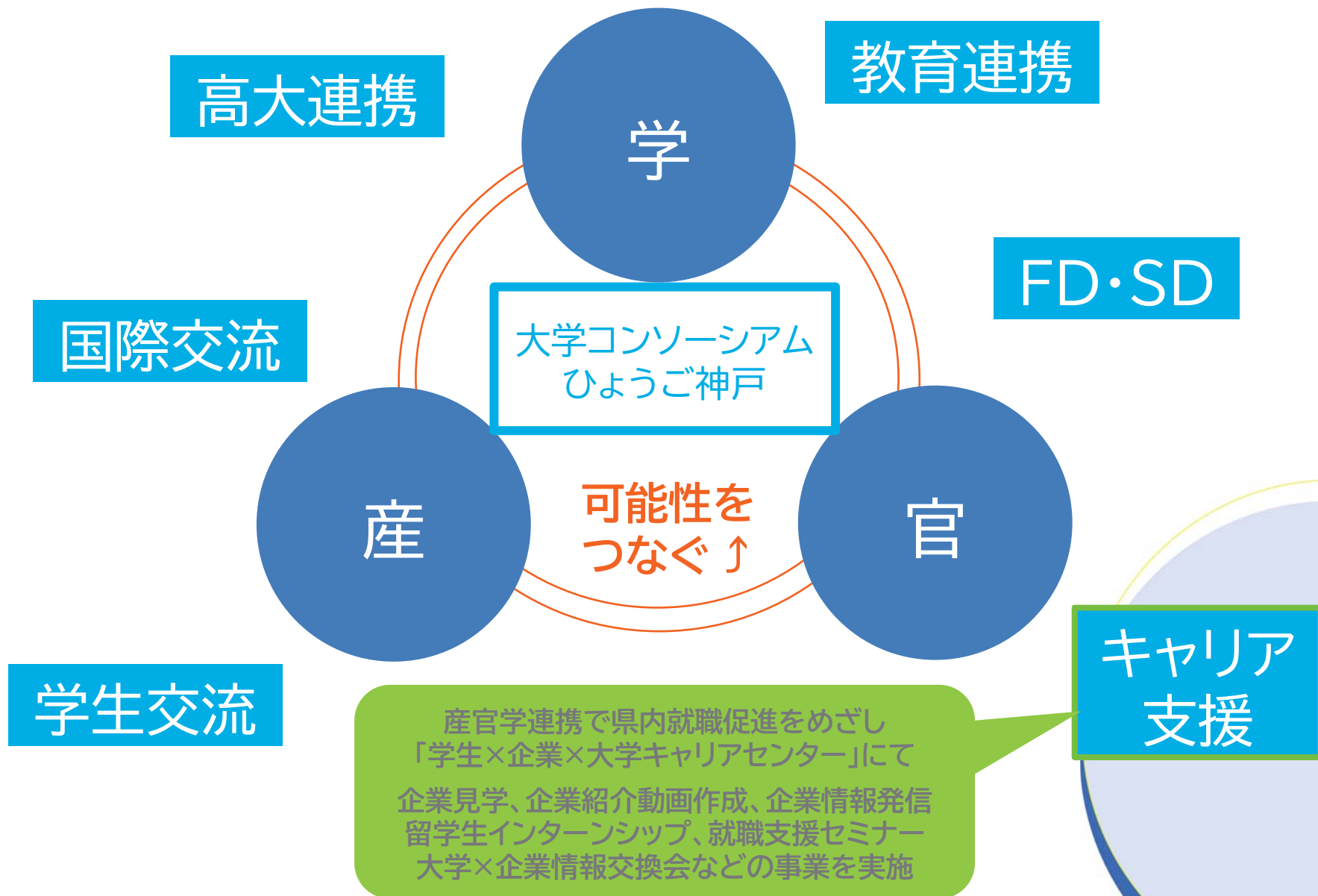
事業:

国際交流、学生交流、教育連携、高大連携、FD・SD、キャリア
6事業を中心に、大学間連携・産官学連携を展開

1-2 大学コンソーシアムひょうご神戸役員

■理事長	甲南大学	学長	中井 伊都子
■副理事長	神戸大学 神戸学院大学	学長	藤澤 正人
■理事	関西国際大学 関西学院大学 神戸市外国語大学 神戸市看護大学 神戸親和大学 神戸常盤大学 兵庫県立大学	学長	中村 恵
■監事	大手前短期大学 神戸女学院大学	学長	濱名 篤
■参与	兵庫県 神戸市 独立行政法人日本学生支援機構	学長	森 康俊
		学長	田中 悟
		学長	江川 幸二
		学長	三井 知代
		学長	濱田 道夫
		学長	高坂 誠
		学長	福井 洋子
		学長	中野 敬一
		知事	齋藤 元彦
		市長	久元 喜造
		理事長	吉岡 知哉





2-1 ひょうご留学生インターンシップについて

2008年度 文部科学省「大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」採択を契機とし
終了後も自主事業として継続し、今年で16回目となる歴史あるプログラム

15年間で、受入企業総数84社、21大学から599名の留学生が参加

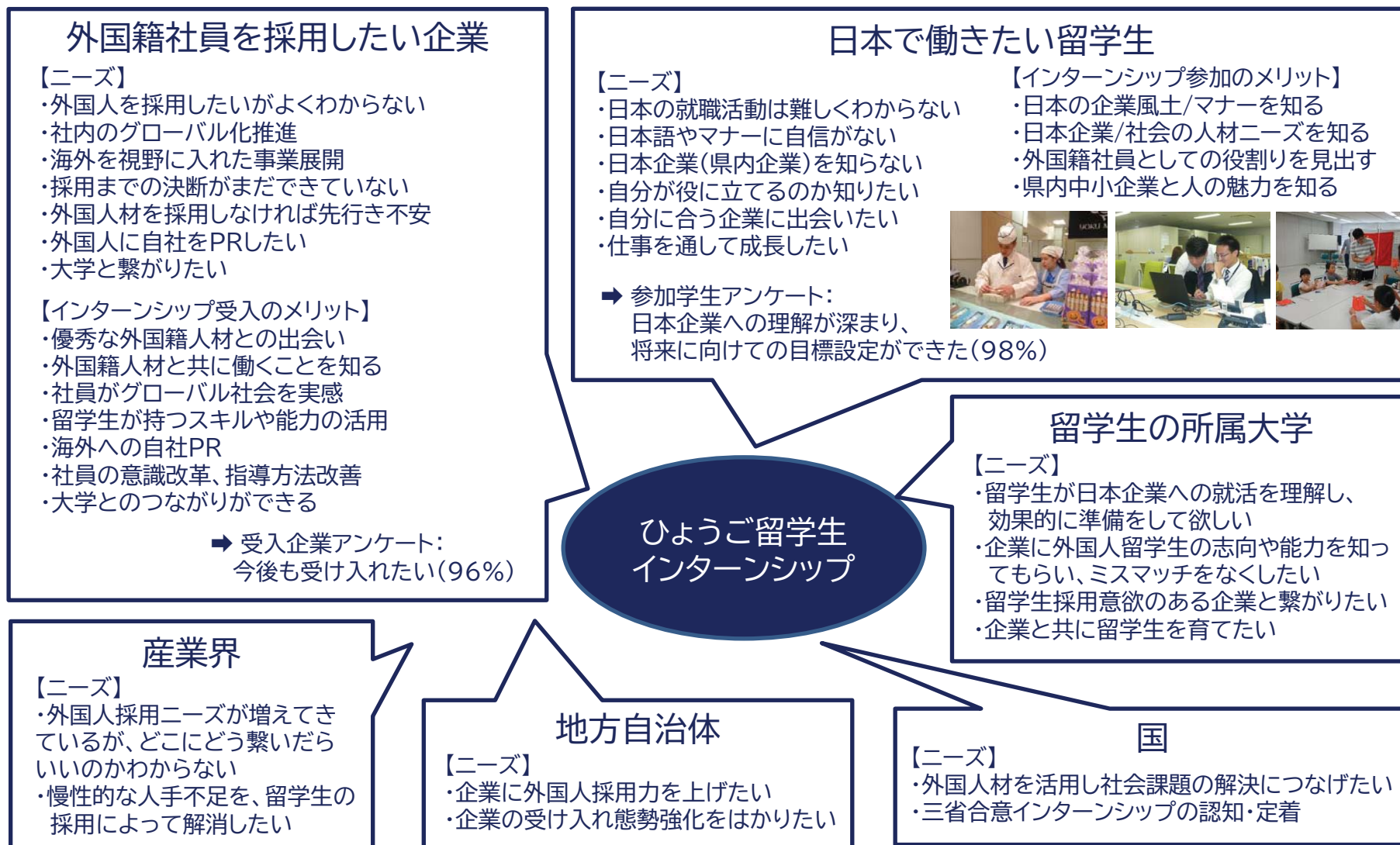
<わたしたちの想い>

- ・日本企業に就職を希望する優秀な留学生が県内企業で就職し、
県内企業発展に寄与する人財になってもらいたい！
- ・企業の経営者に、留学生の特性と日本企業で働きたいという
強い意欲をご理解いただき、留学生の採用に向けた支援を行いたい！

【目的】

- 1)兵庫県内の大学に在籍し、日本での就職を希望する留学生に、企業・団体等での
インターンシップを始めとしたキャリア形成支援に係る取組の機会を提供するこ
とで、日本企業理解の一助とし、就職のための支援を行う。
- 2)企業の経営者に留学生の特性と日本企業で働きたいという強い意欲をご理解
いただき、留学生の採用に向けた支援を行う。
- 3)県内企業と大学が連携し、共に留学生を育て・活用する環境を作ることで、
地域経済の活性化を担う高度外国人材の育成と定着をはかる。

2-2 ひょうご留学生インターンシップについて



県内企業と大学が連携し、共に留学生を育て・活躍できる環境を作ること、
地域経済の活性化を担う高度外国人材の育成と定着をはかる

3-1 2024年度 ひょうご留学生インターンシップ 実施要項

対象学生

大学コンソーシアムひょうご神戸の加盟校に在籍する外国人留学生
(学部3年生・大学院1年生を主体とするが、全学年参加可能)

学生参加条件

- 1)日本の企業・団体への就職を希望する留学生
- 2)日本語能力試験(N2～N1程度)の資格を持ち、報告書作成や実習先でのコミュニケーションなどに支障ない実務的な日本語能力を有する者
- 3)ガイダンスから報告会までのすべてのプログラムに責任を持って参加できる者

実施時期と期間

実施時期: 2024年6月～9月
インターンシップ実習期間: 8月～9月上旬: 受入先のプログラムに従う

実習の形式

【前提】3省合意「学生のキャリア形成支援に係る産学協働の取組の四つの類型」における『タイプ3: 汎用型能力・専門活用型インターンシップ』の要件を満たす内容で実習プログラムをご検討ください。

- ・学生参加期間の半分以上を職場就業体験とすること
- ・5日間以上の実習期間を設けること

※その他の要件は、本プログラムにて受入企業に対応をお願いしている内容に含まれており、追加のご負担は発生しません。

受入企業負担

無し

※キャリア教育の一環としてのインターンシッププログラムとして、原則として学生への報酬および交通費支払いは不要です。

※インターンシップ参加学生の所属校または主催者にて、学生自身のインターンシップ中の事故に備えた傷害保険、損害保険への加入を確認・指導します。受入企業側での保険加入は不要です。

3-2 参考資料:「採用と大学教育の未来に関する産学協議会」キャリア形成支援活動4類型

→ 大学生等のキャリア形成支援活動が類型化され、一定の基準を満たしたインターンシップの扱いが見直されました
本プログラムでは、『タイプ3』のインターンシップを対象として実施します

出典:【リーフレット】産学で変えるこれからのインターンシップ
 —学生のキャリア形成支援活動の推進—



学生のキャリア形成支援活動 (4類型) — 特徴の比較 —

以下の表は、学生のキャリア形成支援活動(4類型)の主な特徴を一覧表にまとめたものです。各タイプの特徴に関するより詳しい内容については、産学協議会2021年度報告書「産学協働による自律的なキャリア形成の推進」の33～45ページをご覧ください。



タイプ3・タイプ4が産学で合意した
 これからのインターンシップです。

	類型			
	タイプ1: オープン・カンパニー	タイプ2: キャリア教育	タイプ3: 汎用的能力・専門活用型インターンシップ	タイプ4(試行): 高度専門型インターンシップ
①目的	個社や業界に関する情報提供・PR	働くことへの理解を深めるための教育	就業体験を通じて、学生にとっては自らの能力の見極め、企業にとっては学生の評価材料の取得	就業体験を通じて、学生にとっては実践力の向上、企業にとっては学生の評価材料の取得
②代表的ケース (主に想定されるもの)	企業・就職情報会社や大学キャリアセンターが主催するイベント・説明会	●大学等が主導する授業・産学協働プログラム(正課・正課外を問わない) ●企業がCSRとして実施するプログラム	企業単独、大学等が企業あるいは地域コンソーシアムと連携して実施する、適性・汎用的能力ないしは専門性を重視したプログラム	●ジョブ型研究インターンシップ(自然科学分野の博士課程学生を対象に文科省・経団連が共同で試行中) ●高度な専門性を重視した修士課程学生向けインターンシップ(仮称)(産学協議会で検討中)
③就業体験	なし	任意	必須 ★(a) 就業体験要件 学生の参加期間の半分以上の日数を職場での就業体験に充てる(テレワークが常態化している場合は、テレワークも「職場」) ★(b) 指導要件 就業体験では、職場の社員が学生を指導し、インターンシップ終了後、学生に対しフィードバックを行う	必須
④参加期間 (所要日数)	超短期(単日)	授業・プログラムによって異なる	★(c) 実施期間要件 (i) 汎用的能力活用型は短期(5日間以上) (ii) 専門活用型は長期(2週間以上)	●ジョブ型研究インターンシップ: 長期(2カ月以上) ●高度な専門性を重視した修士課程学生向けインターンシップ(仮称): 検討中
⑤実施時期	時間帯やオンラインの活用等、学業両立に配慮し、学士・修士・博士課程の全期間(年次不問)	学士・修士・博士課程の全期間(年次不問)。但し、企業主催の場合は、時間帯やオンラインの活用等、学業両立に配慮	★(d) 実施時期要件 学業との両立の観点から、「学部3年・4年ないしは修士1年・2年の長期休暇期間(夏休み、冬休み、入試休み・春休み)但し、大学正課および博士課程は、上記に限定されない	—
⑥取得した学生 情報の採用活動 への活用	不可	不可	採用活動開始以降に限り、可	採用活動開始以降に限り、可



丁寧な情報
 発信が大事!

★(e) 情報開示要件: タイプ3の実施にあたり、募集要項等に、以下の項目に関する情報を

- ①プログラムの趣旨(目的)
- ②実施時期・期間、場所、募集人数、選抜方法、無給/有給等
- ③就業体験の内容(受入れ職場に関する情報を含む)
- ④就業体験を行う際に必要な(求められる)能力
- ⑤インターンシップにおけるフィードバック

記載し、ホームページ等で公表してください。

- ⑥採用活動開始以降に限り、インターンシップを通じて取得した学生情報を活用する旨(活用内容の記載は任意)
- ⑦当該年度のインターンシップ実施計画(時期・回数・規模等)

⑧インターンシップ実施に係る実績概要(過去2～3年程度)

⑨採用選考活動等の実績概要 ※企業による公表のみ

3 - 3① 2024年度 ひょうご留学生インターンシップの取り組み

① 受入企業、加盟校、事務局のさらなる連携によるワンチームでの運営

大学コンソーシアムひょうご神戸の独自事業として、それぞれの立場からインターンシップ事業に携わり、ワンチームでプログラム運営を行うことが本プログラム最大の特徴です。
このため3者間では本プログラム期間中、必要な情報を共有し、それぞれに役割を担います。

② インターンシップに向けたそれぞれの役割

・受入企業

主旨に沿ったインターンシッププログラムの策定、応募者の選考と実習生の確定、プログラムの確定と実施を行い、受け入れた留学生に就業体験の場を提供することで、インターンシップを通じた留学生のキャリア形成をサポートします。

・加盟校

より多くの留学生がインターンシップ参加の機会を得られるよう所属留学生への広報を行い、参加申込やインターンシップ志望先選定において留学生へのアドバイスを行います。また、インターンシップ参加が決定した留学生に対し、適切な態度かつ明確な目標を持って実習に参加できるよう事前指導を担います。

・コンソーシアム事務局

本プログラム運営に不可欠な受入企業募集や会員校への情報提供を行い、受入企業、加盟校、留学生をコーディネートします。また企業情報、学生情報を管理するとともに、説明会、ガイダンス、各種研修や交流会等のイベントを実施します。

インターンシップ受入企業	加盟校	事務局
<ul style="list-style-type: none"> ・実習プログラムの策定 ・応募者選考、受入可否決定 ・実習プログラム確定(事前訪問) ・実習の実施 ・実習生の評価 ・プログラム評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・所属留学生への広報 ・所属留学生の応募状況、受入可否状況把握 ・インターンシップ参加学生の指導 (誓約書回収、目標設定指導) ・インターンシップ受入企業との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラム運営 ・受入企業募集 ・加盟校への情報提供 ・参加学生募集 ・全体研修やイベントの実施 ・受入企業、加盟校、留学生のコーディネート

3 - 3② 2024年度 ひょうご留学生インターンシップ の取り組み

③ 事前説明会を実施し、オンデマンドでも配信

事務局にて「ひょうご留学生インターンシップ」学生向け説明会を実施し、オンデマンドでも配信することで、加盟校と共に、県内留学生へのプログラム広報を行います。

④ マッチングは受入企業が決定

※2023年度同様、留学生には複数企業へのエントリーを認めます。企業側は受入可否を決定し、専用フォームにて回答します。(コンソーシアム事務局によるマッチングは行いません)
受入可否は、事務局からエントリー学生および加盟校に通知され、情報が共有されます。

⑤ 県内企業と留学生・大学の情報交換の場の充実

※**企業と大学のさらなる連携**： インターンシップ参加企業ほか、留学生採用に関心のある企業と大学が会いお互いを知る機会を作る。留学生と企業、大学教職員が関係性を構築し、将来県内で活躍する外国籍社員を共に育てるつながりをつくる。

※**企業に向けた情報発信**： 先進事例紹介、セミナー開催、留学生採用に関する専門家の紹介などを通して、県内企業の留学生採用力向上をはかる。

※**留学生に向けた情報発信**： 先輩社員情報配信、「地元で働こう企業情報サイト」掲載企業の留学生採用情報追加、合同企業説明会、セミナーなどを通して、留学生採用に関心のある県内企業情報を発信する。

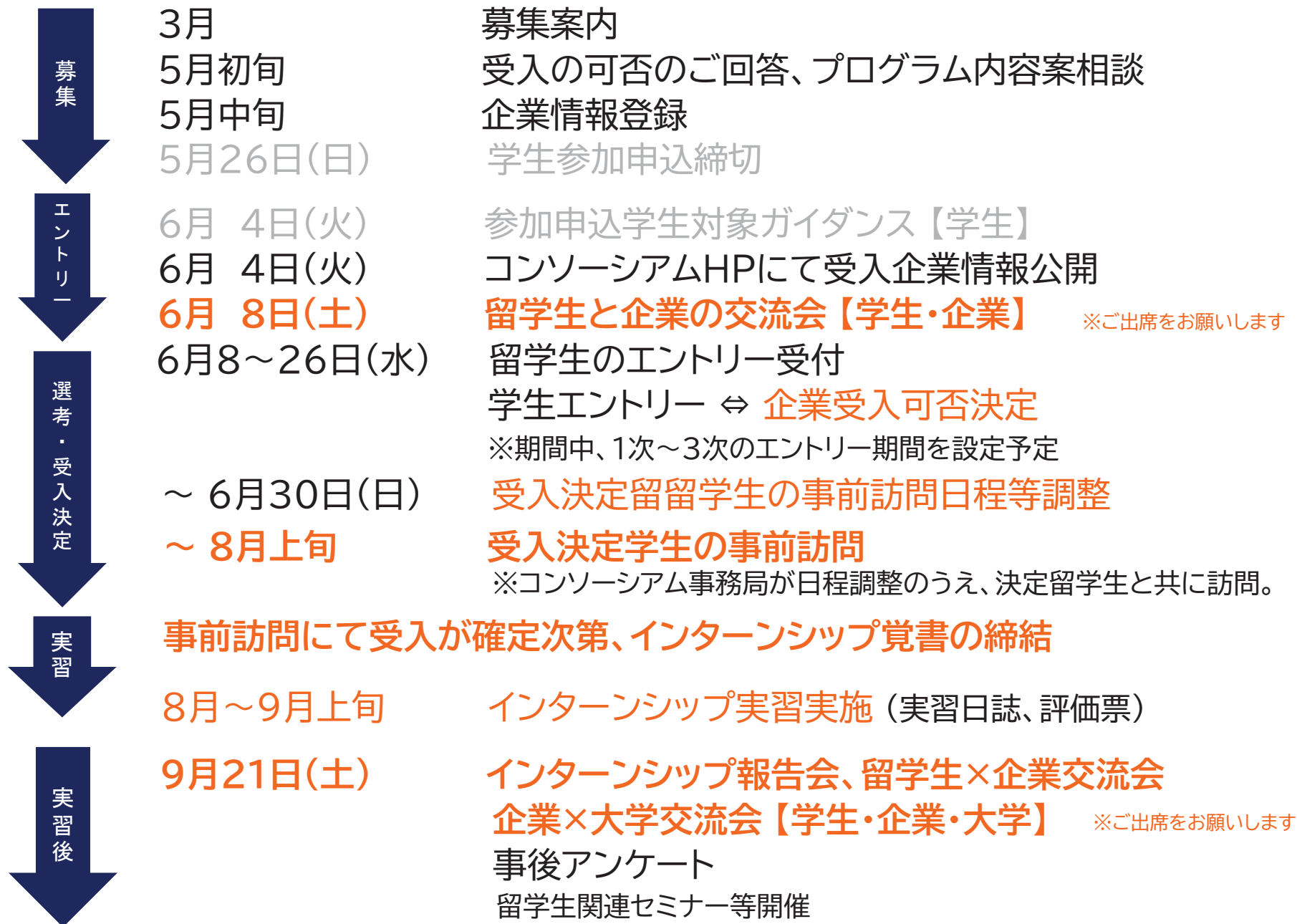
※**留学生×企業**：「エントリー学生と企業の交流会」、「インターンシップ報告会&留学生×企業情報交換会」
企業×大学：「留学生採用に関心のある企業×大学情報交換会」はこれまで通り開催(予定)。

3-4 2024年度 ひょうご留学生インターンシップ 実施内容について

これまで以上に受入企業、加盟校、コンソーシアム事務局が連携し、
ワンチームで行うインターンシップ 2023年度の運営方法を一部変更します。(赤字部分)

募集	ひょうご留学生インターンシップ説明会(オンライン/オンデマンド)	説明会をオンデマンド配信します。
	<ul style="list-style-type: none"> ■留学生参加申込(コンソーシアムHPにWeb登録) ●企業受入申込(「受入企業情報シート」を提出) 	<p>「兵庫県インターンシップシステム」を使用しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生はコンソーシアムHPにてWEB申込を行い、エントリーはHPにある専用フォームから行います。 ・受入企業、加盟校、コンソーシアムにてファイル共有ができるDropboxを活用します。 ・加盟校はDropbox上で共有されるファイルにて留学生の状況や受入企業等の各種情報を確認できます。(アプリのインストールなどは不要です。リンク先を共有します)
	<ul style="list-style-type: none"> ■参加申込留学生対象ガイダンス ・インターンシップの心構え、目標設定、交流会に向けたアドバイス等 【留学生と企業の交流会】 ・留学生×企業が直接コミュニケーションを取り、相互理解 	
<ul style="list-style-type: none"> ■留学生のエントリー(1次～3次) →コンソーシアムにて取りまとめ、企業に情報提供 ●企業による受入可否判断 →コンソーシアムにて取りまとめ、留学生・加盟校に通知 		
事前準備	<ul style="list-style-type: none"> 【留学生の受入企業事前訪問】 →事前訪問を経て、正式にインターンシップが確定 ・大学にて保険加入確認、コンソーシアム事務局と企業で覚書締結 	インターンシップ開始後のトラブル防止のため、 実習前の事前訪問を必須 とします。事前訪問を経て、インターンシップが正式に確定します。
	<ul style="list-style-type: none"> ■留学生は、事前訪問時に「誓約書」「目標設定シート」を提出 →各大学にて適宜ご指導ください ■留学生はインターンシップスキルアップ講座等に参加 	留学生が実習先に提出する「誓約書」および「目標設定シート」は、事前訪問時に学生から企業に提出します。
	<ul style="list-style-type: none"> 【インターンシップ実習】 ・留学生、企業にて「実習ノート」を記入→コンソーシアムに提出 ●企業による留学生評価 	実習を通し、留学生、受入企業は「日報」「報告書」等を記入
実習・実習後	<ul style="list-style-type: none"> 【インターンシップ報告会】 ・関係者で成果や課題を共有 	

3 - 5① 2024年度 ひょうご留学生インターンシップ スケジュール (受入企業)



3 - 5② 2024年度 ひょうご留学生インターンシップ スケジュール (加盟校)

募集

4月・5月中旬
～5月中旬

広報へのご協力 チラシやメール、ガイダンス等での周知
「学生向けインターンシップ説明会」開催
※留学生の参加申込に向けたサポートをお願いいたします

5月26日(日)

留学生参加申込締切

6月 4日(火)

参加申込留学生ガイダンス【学生】

6月 4日(火)

コンソーシアムHPにて受入企業情報公開

6月 8日(土)

留学生と企業の交流会 ※ご出席をお願いします

6月8～26日(水)

留学生のエントリー受付

学生エントリー ⇄ 企業受入可否決定

※期間中、1次～3次のエントリー期間を設定予定。エントリー状況を共有しますので、必要に応じて学生フォローをお願いします。

～ 6月30日(日)

受入決定学生-企業 事前訪問日程等調整

※コンソーシアム事務局が日程調整のうえ、決定留学生と共に訪問。
(ご対応可能な範囲で事前訪問への同行をお願いします)

事前訪問にて実習が確定した留学生の指導

※誓約書、目標設定シート作成指導→受入企業への送付

※留学生の保険加入状況の確認、学内で実施するキャリアセミナー等への参加を案内

8月～9月上旬

インターンシップ実習実施

※必要に応じて学生フォローをお願いします

実習

9月21日(土)

インターンシップ報告会、留学生×企業交流会

企業×大学交流会【学生・企業・大学】 ※ご出席をお願いします

実習後

大学コンソーシアムひょうご神戸

ひょうご留学生インターンシップ

2024年度マニュアル

2024年度実施マニュアル（加盟校）

0. インターンシップ受入の流れ

1. 留学生への広報

～5月中旬（マニュアルP. ____参照）

2. 参加申込（WEB登録）時のフォロー

～5/26（日）（マニュアルP. ____参照）

3. ガイダンス、企業と留学生の交流会への参加誘導

ガイダンス:6/4（火）、交流会:6/8（土）（マニュアルP. ____参照）

4. エントリー時のフォロー

6/8（土）～6/26（水）（マニュアルP. ____参照）

5. 受入手続き

～8月上旬（マニュアルP. ____参照）

6. 実習

8月中旬～9月中旬（マニュアルP. ____参照）

7. 成果報告会への参加

9/21（土）（マニュアルP. ____参照）

2024年度実施マニュアル（加盟校）

1. 留学生への広報（インターンシッププログラム案内）

①留学生への広報

プログラム周知のお願い

チラシの掲示・配布やメール配信、学内で実施されるガイダンス等でのアナウンス等、本プログラムの留学生への周知にご協力ください。

インターンシッププログラム説明会への参加(オンデマンド視聴)誘導のお願い

本プログラムの特徴や参加のメリットを紹介する説明会を開催します。(オンデマンド配信も予定)
留学生に参加(オンデマンド視聴)を促すご案内をお願いします。

プログラム説明会:2024年4月22日(月)(オンライン)
(オンデマンド視聴可能期間:2024年4月23日~5月26日)
オンデマンド視聴 URL

【各種情報の共有】

2024年度の入企業などの各種情報等、学生への配布資料は、HPにてご確認いただけます。

2. 参加申込(WEB登録)時のフォロー (WEB登録からエントリーまでの留学生サポート)

①プログラムへのWEB登録時のフォロー

留学生は参加申込にあたり、WEB登録フォームで現在までの学歴や職歴、スキル(語学やビジネス系ソフト、デザイン・動画編集系ソフト、プログラミング言語など)、インターンシップ参加の動機、自己PRなどの入力が必要です。
この内容が、インターンシップ受入企業との交流会において企業担当者とも共有されるため、申込時の入力内容についてアドバイス等のサポートをお願いいたします。

学生の申込方法:コンソーシアムHPから申込(WEB登録)

申込期限:2024年5月26日(日)

※会員校に所属する留学生がWEB登録を行うと、ご担当者宛にシステムから登録内容を共有するメールが送信されます。
自校の学生の申込状況を確認し、学内での広報や個別アドバイス等のご対応をお願いします。

3. ガイダンス、企業と留学生の交流会への参加誘導（WEB登録からエントリーまでの留学生サポート）

①ガイダンスへの参加誘導

プログラム登録留学生を対象にしたガイダンスを実施します。インターンシップ参加にあたっての心構えや、企業との交流会の目的や望ましい準備・参加姿勢などについて説明を行います。
必ず参加するよう、留学生へのご案内をお願いいたします。

ガイダンス実施日:2024年6月4日(火) 18:00~21:00

会場:兵庫国際交流会館(予定)

プログラム登録学生: 参加必須

②交流会への参加誘導とアドバイス

留学生と受入企業が直接コミュニケーションを取り、相互理解を深めることで、ミスマッチを防ぎ有意義なインターンシップが実施されることを目的として実施します。必ず参加するよう、留学生へのご案内をお願いいたします。

なお、交流会までに受入企業情報が公開されており、留学生にはガイダンスにおいて、事前に企業情報に目を通したうえで、企業との交流に備え、自己PRや企業への質問などの準備を行うように伝えておりますが、話を聞くだけという消極的態度や、自分の知っている企業・関心の高い企業の話しか聞かないという留学生もいます。事前に、せっかくの企業との交流会機会をどのように活かすのか、どのような企業と交流すると良いのか、これまでの先輩学生の事例なども踏まえ、留学生にアドバイスをお願いいたします。

また、ご担当者様におかれましても、交流会に参加いただき各受入企業の概要やインターンシップ内容の説明をお聞きいただき、留学生のインターンシップ志望先選定のサポートの際に参考にさせていただければ幸いです。

交流会実施日:2024年6月8日(土) 11:00~17:00

会場:兵庫国際交流会館(予定)

**プログラム登録学生:参加必須
所属校教職員: ご参加ください**

4. エントリー時のフォロー（申込からエントリーまでの留学生サポート）

①エントリー時のフォロー

交流会終了後、留学生はインターンシップを希望する企業を選定し、エントリーを行います。エントリーにあたっての留学生のサポートをお願いいたします。

- ・志望企業選定にあたってのアドバイス
- ・志望する企業が提示している条件の確認
- ・エントリーフォームで入力する志望理由等の確認、アドバイス

学生の申込方法:コンソーシアムHPから申込(WEBエントリー)

1次エントリー締切:2024年6月10日(月) →可否判断締切:6月13日(木)15:00

2次エントリー締切:2024年6月16日(日) →可否判断締切:6月19日(水)15:00

3次エントリー締切:2024年6月23日(日) →可否判断締切:6月26日(水)15:00

【エントリーフォーム入力項目】

①氏名、所属等の基本情報、②インターンシップ志望先企業、③志望理由と自己PR

【お願い】

※留学生が複数企業のインターンシップへ応募することは認めていますが、実習日程が重複する企業にエントリーしようとしており、参加が認められてもどちらかを辞退する可能性が高い場合などは、志望先見直しをご指導いただくようお願いいたします。

※加盟校に所属する留学生がWEBエントリーを行うと、ご担当者宛にシステムから登録内容を共有するメールが送信されます。

自校の学生のエントリー状況を確認し、締切までのエントリー促進や個別アドバイス等のサポートをお願いします。

※可否判断締切日の17:00には、コンソーシアムから所属学生の可否結果を共有します。募集定員に達しない企業があった場合、2次・3次募集を実施します。1次エントリーで実習受け入れ不可となった留学生に2次・3次エントリーのご案内およびサポートをお願いいたします。

②学生への結果通知(コンソーシアム事務局→留学生)

各企業からの留学生の受入可否の結果は、事務局から留学生に通知します。

5. 受入手続き ～ 6. 実習（インターンシップ参加留学生への対応）

①「誓約書」「目標設定シート」の指導（コンソーシアム事務局→留学生）

実習受け入れ可となった留学生には、事務局から「誓約書」「目標設定シート」の作成・提出を連絡します。

いずれも、受入企業への事前訪問時に提出するものとなります。事前訪問を経て、正式にインターンシップが確定することになりますので、留学生が準備不足のままに企業を訪れることのないよう、「目標設定シート」の作成をサポートいただけますと幸いです。

動画「目標設定の考え方」について

留学生には、企業との交流会終了後に、目標設定の意図やその考え方についてレクチャーし、また詳細説明の動画を視聴し、現在の自分の課題や受入企業で体験できるプログラム内容を考慮した適切な目標を設定できるよう指導します。

動画URL：

※留学生が動画を視聴したうえで、事前訪問で実習内容やそこで出来ることを理解したうえで、適切な目標が設定できているかどうか、ご確認ください。

【誓約書】

誓約書

この誓約書は、実習参加者（留学生）とコンソーシアム事務局（以下「事務局」）との間で、実習参加に関する条件や注意事項を定めるものです。実習参加者は、本誓約書の条件や注意事項を必ず守るものとします。

一、実習参加者は、本誓約書の条件や注意事項を必ず守るものとします。

一、実習参加者は、実習期間中に発生した怪我等の責任を負いません。また、実習期間中に発生した怪我等の責任を負いません。また、実習期間中に発生した怪我等の責任を負いません。

一、本誓約書に定められた事項以外に、実習参加者は、実習期間中に発生した怪我等の責任を負いません。また、実習期間中に発生した怪我等の責任を負いません。また、実習期間中に発生した怪我等の責任を負いません。

署名

実習参加者

事務局

【目標設定シート】

目標設定シート

大専攻	専攻	実習先
I. 自分の成長に関する目標		
目標設定の状況（実現したい経験や伸ばしたい強みなど）		
実習先での目標設定		
II. インターンシップ先の実習内容に関する目標		
インターンシップ先で予定されている実習内容を確認して取り組むこと、維持すること		
インターンシップ先での実習内容		
インターンシップ先での実習内容		
III. インターンシップ先に貢献すること		
インターンシップ先での貢献		

5. 受入手続き ～ 6. 実習（インターンシップ参加留学生への対応）

②インターンシップ事前訪問への同行(任意)

実習受け入れ可となった留学生が、事務局スタッフと共に受入企業に事前訪問を行います。

留学生は、事前に作成した「目標設定シート」を持参し、日程やプログラム内容について、双方の認識にギャップが無いかどうかを改めて確認します。企業側・留学生双方にて問題ないことが確認できれば、留学生は企業へ「誓約書」を提出し、インターンシップ実施が正式に確定することとなります。

※事前訪問日程の調整は受入企業と留学生のスケジュールを確認して事務局にて実施します。

可能な範囲で訪問への同行をお願いいたします。

③学内で実施される各種講座やセミナー等の案内

事務局では、任意参加のインターンシップスキルアップ講座(日本語、ビジネスマナー)を用意していますが、インターンシップ参加留学生に対し、学内で実施するキャリアセミナー等への参加も合わせてご案内ください。

④事務局との連絡体制

・インターンシップ生の保険加入状況確認

決定学生の保険加入状況を確認のうえ、適宜ご対応ください。

(受入企業から、加入証明書の提出を求められることがありますので、ご対応ください。)

・事件、事故等の発生時対応

コンソーシアム事務局が窓口として対応しますので、所属学生の実習先から直接連絡が入った場合は、事務局にご一報ください。状況に応じて事務局と連携して対応いただく場合があります。

・留学生から相談があった場合の対応

コンソーシアム事務局が窓口として対応しますので、所属学生から直接連絡が入った場合は、事務局にご一報ください。状況に応じて事務局と連携して対応いただく場合があります。

・台風・地震等の発生時の対応

企業とコンソーシアム事務局との協議により、実習の延期や中止を行います。所属学生やその実習先から直接連絡が入った場合は、事務局にご一報ください。

6. 実習 ～ 7. 成果報告会への参加(実習～インターンシップ終了後の対応)

①留学生、受入企業が記入した「日誌」「報告書」の確認

インターンシップ期間中の学生の「日誌」「報告書」は、企業から大学に送信されますので、学生指導にご活用ください。

②報告会への参加

留学生が、インターンシップでの成果を報告する報告会と、受入企業と会員校のリレーション強化のための交流・意見交換会を実施しますので、ご参加ください。

開催日:2024年9月21日(土) 13:00 ～ 17:00 ※集合12:30

会場:兵庫国際交流会館(予定)

**インターンシップ実習学生: 参加必須
所属校教職員: ご参加ください**

③留学生、受入企業が記入した「評価シート」の確認と学生への配布

企業から留学生の「評価シート」が大学に送信されますので、ご確認のうえ、所属学生に配布ください。

2024年度インターンシッププログラム実施にあたって共有される情報

『県内企業と大学が連携し、共に留学生を育て・活躍できる環境を作ること、地域経済の活性化を担う高度外国人材の育成と定着をはかること』を目的に、インターンシップ受入企業、加盟校、コンソーシアム事務局が連携し、それぞれの立場からワンチームでインターンシップ事業に携わることが本プログラム最大の特徴です。

このため本プログラム期間中、3者間で必要な情報を共有し、それぞれに役割を担います。

【共有される情報】

A:留学生に関する情報

	インターンシップ受入企業	加盟校
■留学生がプログラムへの参加申込(WEB登録)時に登録する情報		
①学生氏名	「留学生と企業の交流会」前に開示されます	自校所属の留学生のWEB登録時に登録情報がメールにて共有されます ※「プログラム説明会」申込者の情報は共有されません。
②所属(大学、学部・研究科、学年)		
③所属ゼミ、テーマ		
④国籍		
⑤性別		
⑥連絡先住所	受入決定後に当該学生の情報が開示されます	
⑦連絡先メールアドレス		
⑧連絡先電話番号		
⑨日本語能力	「留学生と企業の交流会」前に開示されます	
⑩その他スキル		
⑪以前の学歴・職歴		
⑫プログラム受講動機		
■学生が正式エントリー時に登録する情報		
①インターンシップ志望企業	当該企業希望留学生の情報のみ開示されます	自校所属の留学生のWEBエントリー時に入力情報がメールにて共有されます
②インターンシップ志望理由		

2024年度実施マニュアル（受入企業・会員校共通）

B:受入企業に関する情報

	インターンシップ受入企業	加盟校
■インターンシップ受入企業がプログラム参画申込時に登録する情報		
①会社概要	スプレッドシートにて受入企業情報シートを共有します	受入企業情報シートをHPもしくはメールにて共有します
②実習内容		
③担当者氏名、連絡先		
■受入企業が学生の正式エントリー時に登録する情報		
①エントリー学生の可否結果	HP上の専用フォームで事務局に結果を通知します（※他社選考状況は共有されない）	コンソーシアム事務局から情報共有されます（※他校学生の選考状況は共有されない）
②2次/3次募集の実施判断		

C:会員校に関する情報

	インターンシップ受入企業	加盟校
■会員校の情報		
①担当者所属部署	メールにて加盟校担当者リストを共有しますので、インターンシッププログラム期間は保管ください。	メールにて加盟校担当者リストを共有しますので、インターンシッププログラム期間は保管ください。
②担当者氏名、連絡先		